



学校だより

空青々

第 7 号

鹿児島市立伊敷台中学校  
令和3年2月26日発行

### 3学期は次年度へ向けての0学期

校長 平田 和利

3学期は、1年のまとめと次年度への準備をするためにじっと我慢して学力や体力などの土台をしっかりと蓄える0学期です。結果がでないことに焦ったり、あきらめたりしないで、苦しいときに踏ん張る人が、本当の春を喜びで迎えることができます。

3年生は私立高校入試を終え、次は3月9日、10日の公立高校入試へ向けて悔いの残らないよう日々頑張っています。また、3年部の先生方を中心に、生徒一人ひとりの進路実現に向けて、関係書類の作成、提出、受検に向けて事前指導など慌ただし毎日です。

さて、比叡山延暦寺の故、山田恵諦（やまだえたい）天台座主は、何か夢や目標を叶えようと思ったら、次の三つが必要であると言っています。

「一つは、夢に向けて本人の精一杯の努力。二つ目は、周囲の協力。そして三つめに、神仏の御加護（助け）。そして何より大切なのは、やはり本人の努力。これがあれば周囲の協力や、神仏の助けは自ずから生まれてくる。努力なしで神頼みしても、誰も助けてはくれぬ。」とても含蓄のある言葉です。

人は、目標をもってそれを追い求めるとき、どんなに努力してもなかなか結果がでないでいらしたり、投げ出してしまったりしがちです。しかし、そんなことは誰でもあることです。たとえ、どんなことがあったとしても、あきらめずに取り組む強い意志と忍耐力があれば、必ず結果が近づいてくるというものです。

また、受検はその正式名称が高校入学選抜試験というように、合格・不合格をふるいにかけるためのものです。その際の判断基準は単に学力だけでなく、本人の意欲や態度、容姿等なども総合的に評価されます。

普段からしっかりとした生活態度に心掛け、健康に気をつけて、自分の夢や目標に向けて、悔いのない努力をしてください。皆さんの周りの人は、3

年生の頑張りを応援しています。そして、1、2年生も夢を実現するために人生初めての試練をこれから迎えます。

今の時期からしっかりと目標を立てて頑張ってください。

### 第3回評議委員会開催

2月4日(木)に本年度第3回目の学校評議委員会を開催いたしました。今回は11月以降の学校の教育活動や授業参観及び施設参観、各主任からの報告を中心に会を進めました。6人の委員の方が、全クラスの授業をはじめ、本校の教育活動の現状をありのまま見てくださったところで、委員の方々からは、授業態度が良く、教室の掲示物も目標や思いやりのある言葉などが掲示されており、学校環境が整っていることなど評価していただきました。また、今回の大学入学共通テストの問題傾向で長文が多く出題されていることから、長文を読ませて読解力を養うことが必要であるのご指摘もいただきました。

今後とも、委員の皆様のご意見を学校運営に生かしていきたいと思っております。



### 新入生説明会～待ってます～

1月22日(金)の午後、伊敷小・伊敷台小・花野小等の小学校6年生及びその保護者、引率の先生方約350人を迎え、令和3年度入学説明会を開催しました。

前半の全体会終了後、6年生は3班に分かれて本校職員先導のもと、校内見学を行いました。その間、体育館では保護者の皆様へ、教務主任が伊敷台中学校の教育活動、入学準備を説明し、PTA執行部からは次年度のPTA活動への協力依頼があり

ました。その後、6年生が体育館へ帰ってきて、3人の生徒会役員による「伊敷台中学校の一日の流れ」をパワーポイント画面で学びました。



併せて生徒指導主任から「生徒心得」の説明も聞き、制服やジャージなどの着こなし方など中学校での生活のあり方について学ぶことができたと思います。

全体会終了後、3人の6年生が私に近寄ってきて「入学説明会、有難うございました。」とわざわざ感謝の気持ちを表してわしてくれたのには感激しました。令和3年度、新入生が元気に本校へ入学する日を楽しみに待っています。

## 家庭教育学級・父親セミナー閉講式

令和2年度の家庭教育学級は1月20日(水)に閉講式を迎えました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、9月からのスタートで5回実施しました。

教育の原点は、家庭教育であり、親子の心の絆にあります。さらに人間らしさを学ぶ体験学習の場として学校教育があります。

家庭教育学級を通して、保護者の家庭教育のスキルを高めたり、保護者相互で子育ての悩みを語り合ったり、少しでも親の気持ちが軽くなる家庭教育学級になったのではないかと思います。

また、2月6日(土)に父親セミナーの閉校式を行いました。最後の父親セミナーでは、鹿児島西警察署の方をお招きして、SNS等に係る問題点についての講話をしていただきました。全国で、新型コロナウイルスに乗じた悪質なサイバー犯罪が発生していることなど具体例を用いて分かりやすく説明していただきました。



令和2年度の家庭教育学級・父親セミナーへのご参加、誠にありがとうございました。次年度もお待ちしております。

「家庭教育の原点」は、「信じること」「任せること」「気づかせること」ではないでしょうか？

### 1 「信じること」は

- ① 人間(親子)関係・信頼関係の基本である。
- ② 幸福(至福)のベースである。
- ③ やる気(意欲)・向上心の根源である。
- ④ 心が通じ合う対話の条件である。
- ⑤ 親切・奉仕の心の芽生えである。

### 2 「任せること」は

- ① 自主性・実践性の助長である。
- ② 子どもの自立へのトレーニングである。
- ③ 情緒の安定・忍耐の確立である。
- ④ 自力解決の場である。
- ⑤ 思いやりやいたわりの心の開花である。

### 3 「気づかせること」は

- ① 善悪の判断の育成である。
- ② 「けじめ」ある生活態度の確立である。
- ③ 礼儀、マナーの会得である。
- ④ 対人関係・生命の尊重である。
- ⑤ 社会規範・集団規律の自覚である。

## 伊敷台中健全育成連絡会議

2月13日(土)に多目的教室にて、地域の児童民生員、保護司、公民館代表者、PTA役員、地域PTA役員、小学校代表者の約70人の出席を賜わり、本年度1回目となる標記の会議を開催いたしました。

会議の中では、学校から次年度教育課程や生徒指導の現状報告を行い、その後、伊敷交番より交番管内の交通事故や、西署管内の刑法犯の状況について数字を示しての説明がありました。引き続き協議が行われ、生徒の挨拶や不登校生徒の現状などについて質疑・応答がありました。

本校としては、本会議での地域の皆様からの声は大変ありがたく、生徒の健全育成に是非、役立たいと考えております。今後共、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## P T S 会議 から

2月19日(金)の放課後、多目的教室にて、生徒会本部及び専門部役員(部長・副部長)と、PTA役員、保護者、並びに先生方で、本年度1回目のPTS会議を行いました。

主な協議内容は、携帯・スマホの使い方、登下校時の通学マナー、冷水器の使い方等が挙げられました。少ない時間ではありましたが、充実した意見や情報交換をすることができました。

